



# 但馬水産技術センターだより



## 漁況情報（G1406号）

平成26年8月27日

兵庫県立農林水産技術総合センター  
但馬水産技術センター 発行

### ハタハタ・アカガレイ・エチゼンクラゲに関する情報について （平成26年度底びき漁期前調査結果）

平成26年8月4-6日および8月18～21日に但馬沖～島根県日御碕沖の水深180～300m(図1、表1)で、漁業調査船「たじま」により、トロール網試験操業を実施しました。結果の概要は以下の通りです。

#### ① ハタハタ（秋漁）に関する情報

- ・隠岐東方漁場においてややまとまった入網がありました。（表1、図2）
- ・1網当たり入網重量は大山沖での入網が少なかったことから、全域平均で24.4kg/網と過去10年で2番目に低い水準となりました。（表2）
- ・漁獲物は、全体としては体長14cm前後の1才魚が多いですが、2才魚(16cm前後)以上の魚も比較的多く混ざっていました。（図3）
- ・以上のことからハタハタの秋漁について、**漁場は隠岐東方を中心に形成されると見られます。漁獲物は小型魚（1才魚）を中心に中型（2才魚）以上の魚も比較的多く混じるでしょう。漁獲は解禁直後は昨年より少ないと見られますが、9～10月期を通じては前年並みの水揚げが期待できます。**（図4）

#### ② アカガレイ（秋漁）に関する情報

- ・アカガレイの入網は但馬沖～大山沖においてまとまって認められました。（表1、図5）大型のメスは水深300m中心に、中小型個体は210～240mで入網しました。（図6）。
- ・但馬沖～大山沖を平均した入網重量は前年を大きく上回りました。（1.8倍）
- ・以上のことからアカガレイの秋漁について、**漁場は但馬沖から大山沖にかけて形成されるでしょう。漁獲量は前年を上回る可能性**があります。

#### ③ エチゼンクラゲに関する情報

- ・調査を実施した20点で入網は皆無でした。
- ・他機関による情報でもかなり低いレベルでしか出現していません。
- ・以上のことから、**現時点でのクラゲ対策は不要**と考えます。
- ・大型クラゲ出現情報(JAFIC) (<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>) や出現予測(水研センター) (<http://www.fra.affrc.go.jp/kurage/frayosoku21.html>) が公開されています。引き続き最新の情報収集に努めて下さい。

#### ④ その他の情報

- ・9～10月の(特にアカガレイ狙いの)操業時にはズワイガニの混獲死亡が発生することが予想されます。今期、沖底全船で導入した改良漁具が最も威力を発揮する場面ですので、**改良網の積極的な活用**をお願いします。

以上、操業の参考にして頂ければ幸いです。

お問い合わせ先：兵庫県但馬水産技術センター（担当：大谷）

TEL：0796-36-0395 FAX：0796-36-3684

email：nourinc\_tajima@pref.hyogo.lg.jp

ホームページ：http://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm

# 平成26年度底びき漁期前調査結果 資料

## 1)調査の目的

底びき解禁前のハタハタ、アカガレイ、エチゼンクラゲ等の分布、体長組成等に関し、情報の収集と提供を行う。

## 2)調査日時

平成26年8月4-6日(但馬沖)

平成26年8月18~21日(大山沖~日御碕沖)

## 3)調査海域

但馬沖から日御碕沖にかけての水深180~300m海域(図1参照)

## 4)使用船舶

兵庫県 漁業調査船「たじま」(199トン)

## 5)調査内容

### ①トロール試験操業

図1に示した計20点において、底びき試験操業を実施。

使用漁具:着底トロール網、袋網8節、袖先間隔約28m、間口高さ約2.1m、曳網方法:3knot、30分(約1.5マイル)曳き。

### ②海洋観測

定点におけるSTDによる海底までの水温、塩分観測と、網に取り付けたセンサーによる海底水温の計測を実施。

### ③魚探反応の収録

トロール曳網時の魚探反応を収録。

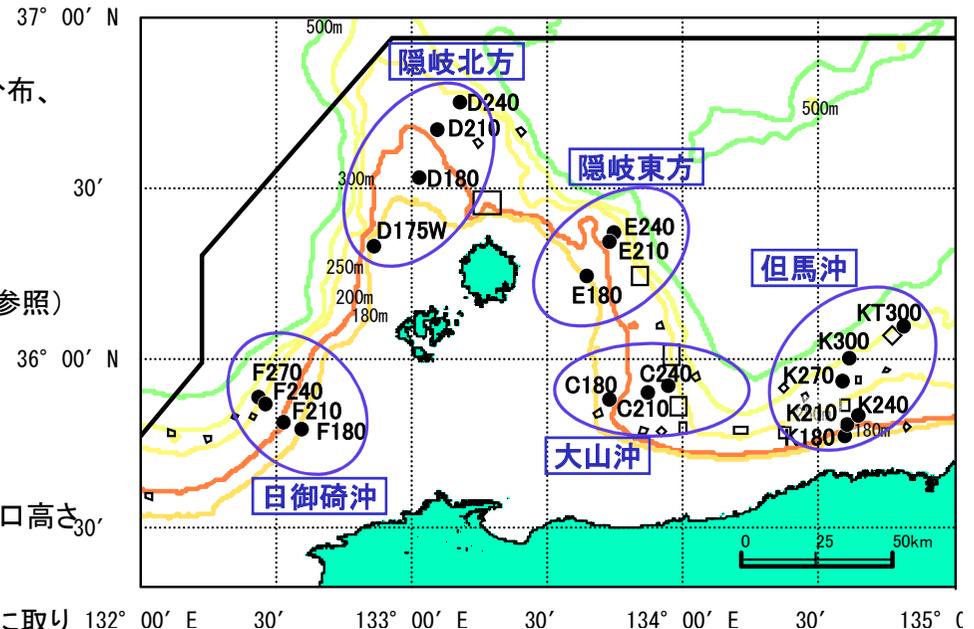


図1 調査海域図

表1 定点別魚種別入網状況

月日	曳網開始時刻	エリア	操業点番号	平均曳網水深	曳網開始位置		海区番号	表面水温(°C)	海底平均水温(°C)	魚種別入網重量(kg)						
					北緯	東経				ハタハタ	アカガレイ(マガレイ)	ソウハチ(イ)	ヒレグロ(ヤマ)	ハズ類	ヒ類	ノゲンゲ(トキ)
					度分	度分										
8/4	11:38	但馬沖	K300	302	36 0.3	134 36.2	8089	26.8	0.9	1.0	286.5	0.0	0.0	2.2	4.7	75.9
"	13:47		KT300	304	36 6.1	134 48.2	8086	26.8	0.9	0.1	175.2	0.0	0.1	3.3	3.7	114.0
"	16:39		K270	276	35 56.1	134 34.7	8097	27.1	1.2	0.0	86.4	0.0	7.5	3.0	1.1	37.8
8/6	10:36		K180	181	35 46.4	134 35.4	8098	26.7	8.7	17.7	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
"	12:10		K210	209	35 48.5	134 35.6	8098	26.2	5.2	10.5	80.5	1.9	2.2	2.1	0.2	0.1
"	14:00		K240(225)	219	35 50.3	134 38.5	8087	26.5	2.9	4.6	38.2	1.3	1.5	8.2	0.3	0.4
8/18	12:48	大山沖	C240	234	35 55.6	133 56.5	8291	25.6	1.3	6.2	45.5	14.3	1.0	12.2	0.1	3.4
"	14:27		C210	211	35 54.3	133 52.0	8291	25.8	1.1	1.4	24.3	14.4	0.9	19.2	1.2	0.4
"	16:20		C180(190)	192	35 53.2	133 43.3	8294	25.8	1.5	55.6	10.1	2.2	0.2	17.3	0.4	0.0
8/21	6:34	隠岐東方	E240(230)	228	36 22.4	133 44.5	8284	25.3	2.3	216.6	2.1	2.6	2.8	13.4	0.5	6.5
"	8:27		E210	213	36 20.6	133 43.4	8284	25.4	2.4	113.7	0.7	10.8	2.1	22.0	0.6	1.0
"	10:31		E180(190)	193	36 14.9	133 38.5	8288	25.6	3.6	14.0	1.5	0.1	2.7	2.1	0.0	0.0
8/20	13:00	隠岐北方	D240	236	36 44.9	133 10.6	8375	25.1	1.0	23.3	5.5	0.0	3.0	3.0	0.8	1.7
"	10:45		D210	208	36 40.3	133 5.7	8378	25.0	1.7	6.2	2.4	0.2	5.6	13.2	2.2	1.8
"	8:53		D190	190	36 31.9	133 1.4	8379	25.1	2.1	21.3	2.7	0.0	2.7	10.9	0.3	0.0
"	6:39		D175W	179	36 19.8	132 51.4	8482	25.3	3.7	64.7	0.0	0.0	0.0	21.0	0.1	0.0
8/19	6:19	日御碕沖	F270	272	35 53.6	132 26.3	8591	24.9	1.0	0.5	3.0	3.9	22.0	10.2	1.1	39.6
"	7:56		F240	245	35 52.2	132 27.5	8591	25.1	1.1	6.4	0.2	0.7	2.9	16.5	0.2	26.2
"	10:01		F210(200)	198	35 48.8	132 31.6	8498	25.1	1.4	6.3	0.7	1.0	3.1	9.9	0.1	3.5
"	11:50		F180	179	35 47.6	132 35.4	8498	25.0	2.3	7.9	0.0	1.3	0.9	11.7	0.0	0.0

※エチゼンクラゲはいずれも入網なし

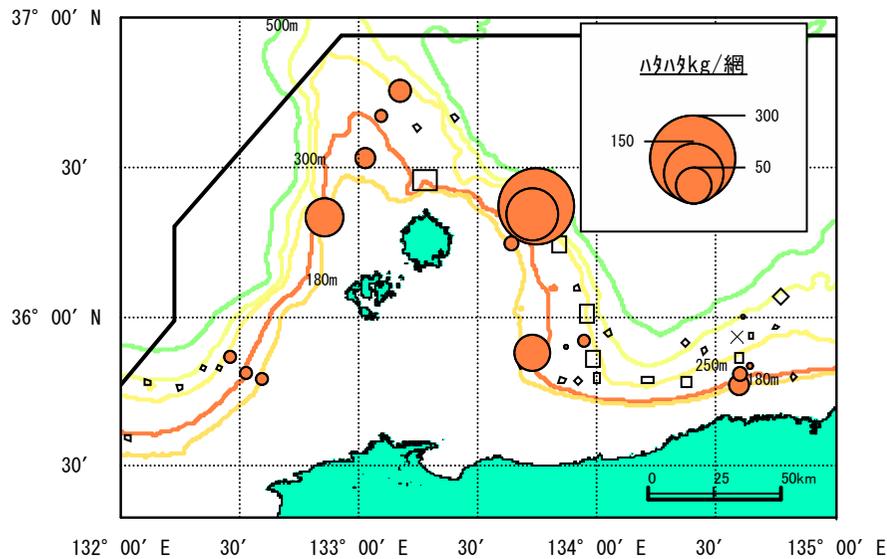


図2 ハタハタ入網重量の分布(kg/網)

表2 エリア別 1 曳網当たりハタハタ入網重量  
(曳網水深166-255m)

年\エリア	日御碕沖	隠岐北方	隠岐東方	大山沖	但馬沖	平均
2005	—	—	70.0 (1)	—	13.8 (3)	27.9
2006	—	70.4 (3)	48.4 (1)	—	3.9 (3)	38.7
2007	—	181.9 (3)	107.1 (2)	209.0 (1)	4.3 (3)	109.1
2008	—	—	—	107.6 (2)	0.5 (2)	54.0
2009	7.6 (3)	29.9 (3)	25.3 (3)	34.3 (2)	3.8 (2)	20.4
2010	1.5 (3)	76.8 (3)	42.0 (3)	14.9 (3)	3.7 (3)	27.8
2011	13.6 (4)	90.9 (2)	135.3 (3)	35.9 (3)	9.1 (3)	51.8
2012	1.5 (3)	85.0 (3)	202.2 (3)	288.1 (3)	9.1 (3)	117.2
2013	1.2 (3)	11.3 (3)	33.0 (4)	182.6 (3)	1.9 (3)	45.2
2014	4.9 (3)	12.1 (3)	82.0 (3)	15.0 (3)	7.8 (3)	24.4

( )内は操業点数

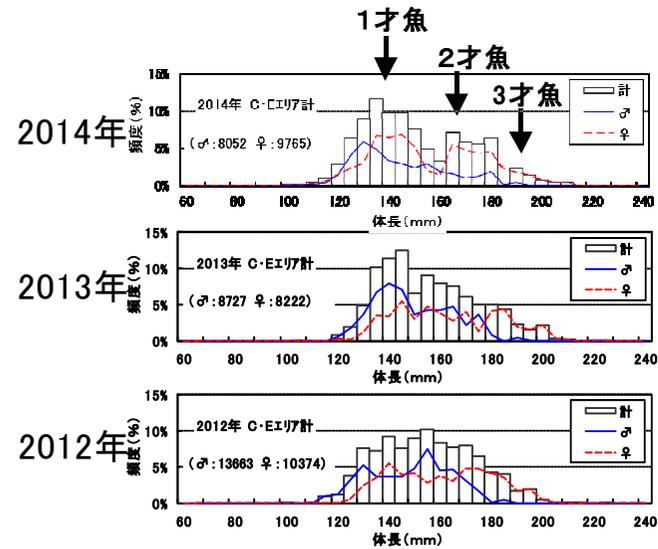


図3 近年のハタハタ体長組成  
(隠岐東方～大山沖)

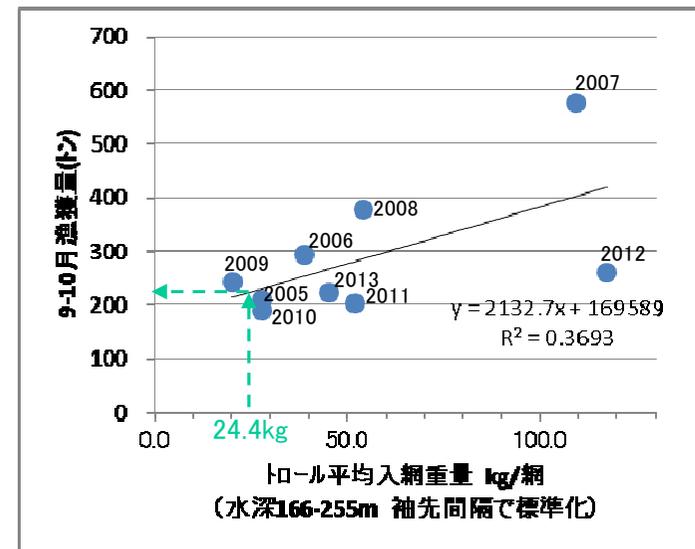


図4 調査平均入網重量と9-10月のハタハタ漁獲量との関係

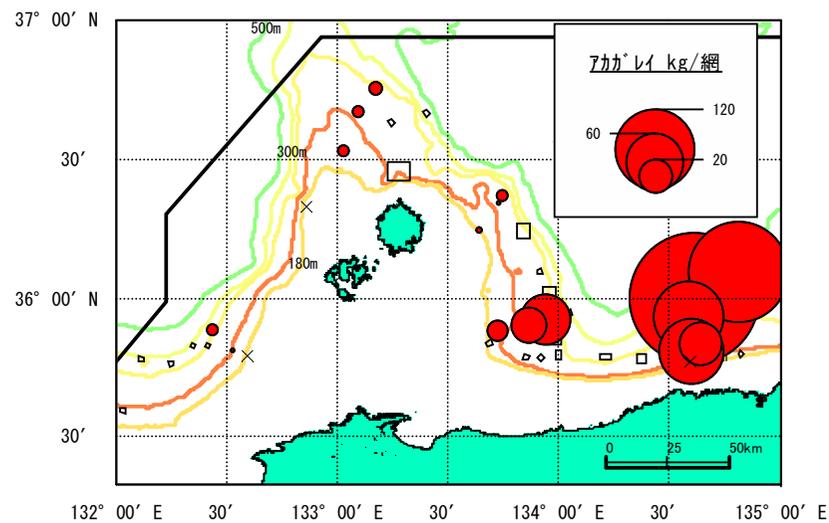


図5 アカガレイ入網重量の分布(kg/網)

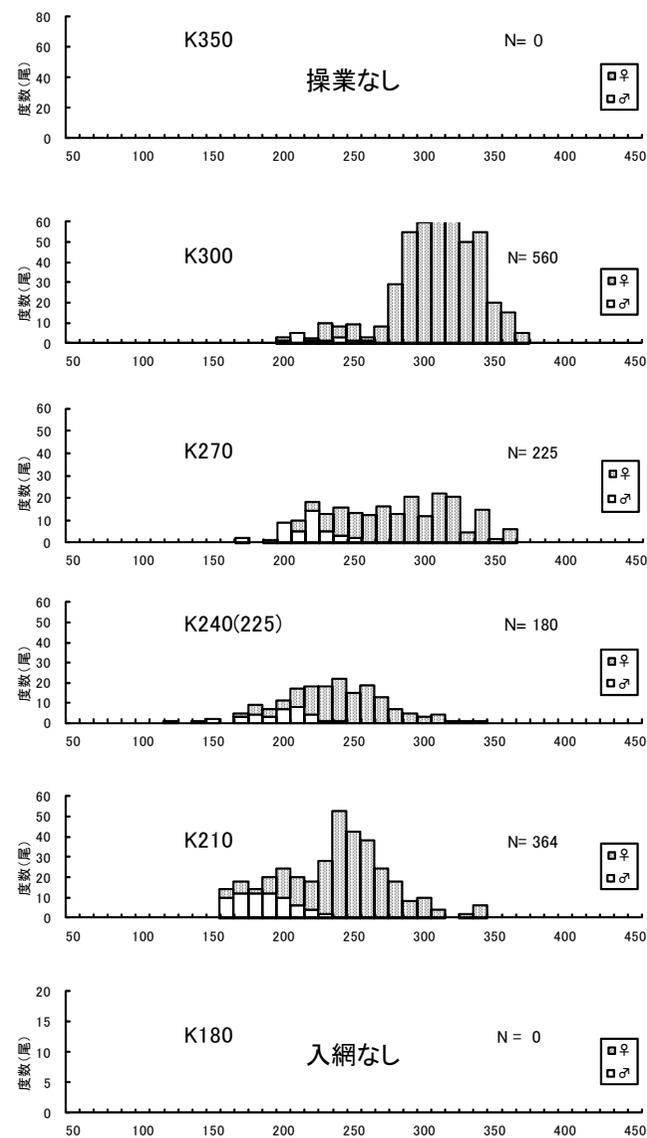


図6 定点別アカガレイ体長組成(香住沖)

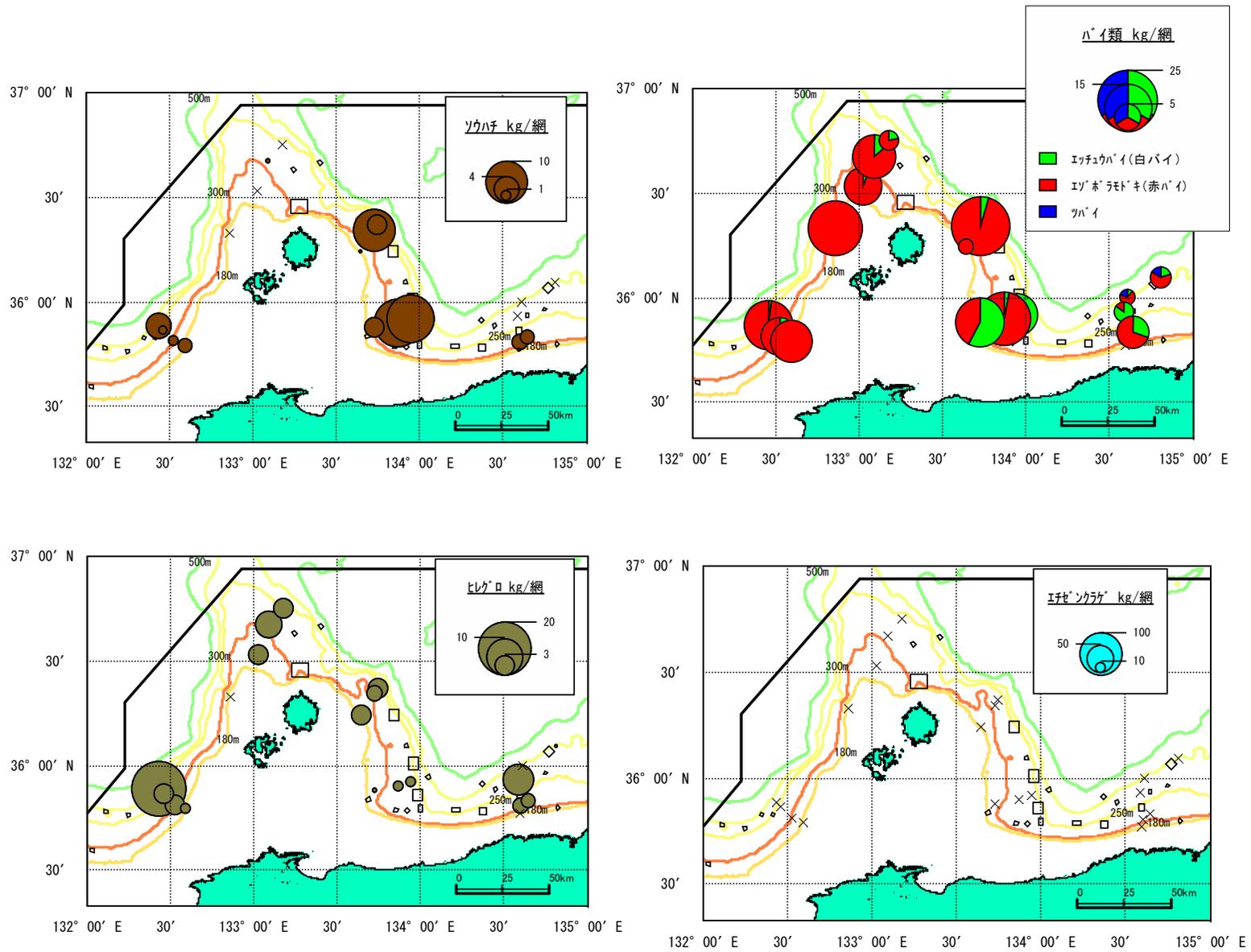


図7 その他主要魚種等の入網重量の分布(kg/網)